



Hewlett Packard
Enterprise

HPE 3PAR サービスプロセッサソフトウェア 5.0 リリースノート

摘要

本書の内容は、Hewlett Packard Enterprise のお客様、パートナー、および HPE のフィールド担当者を対象としています。このリリースノートは、HPE 3PAR Service Console（サービスプロセッサ 5.0 用）に含まれる機能および既知の問題について説明しています。

部品番号: QR482-99052
発行: 2017 年 3 月

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商用コンピューター・ソフトウェア、コンピューター・ソフトウェア資料、および商用製品の技術情報は、ベンダー標準の商用ライセンスのもとで米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外にある情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Google™は、Google Inc.の商標です。

Linux®は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Microsoft®、Windows®、および Hyper-V®は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Mozilla®および Firefox®は、Mozilla Incorporated の商標です。

Red Hat®は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.の商標です。

UNIX®は、The Open Group の登録商標です。

VMware®、VMware® ESX®、VMware® ESXi™、VMware® vCenter™、および VMware vSphere®は、米国における VMware, Inc.の登録商標です。

説明

HPE 3PAR サービスプロセッサソフトウェア 5.0 リリースノートには、サービスプロセッサ（SP）5.0 および付随する HPE 3PAR Service Console（SC）の基本リリースに関する情報が含まれています。

HPE 3PAR サービスプロセッサは、管理対象の HPE 3PAR StoreServ ストレージシステムから、オンデマンドによるものに加え、事前定義の間隔でデータを収集し、構成されていれば Hewlett Packard Enterprise にデータを送信するアプライアンスです。

SC は、SP バージョン 4.4 以前用のグラフィックユーザーインターフェイス（GUI）である、Service Processor Online Customer Care（SPOCC）に代わるものです。SC には、ブラウザ経由でアクセスし、ほとんど SPOCC と同機能を提供します。

アップデートの推奨

アップデートの推奨: HPE 3PAR Service Console を使用し、HPE 3PAR OS バージョン 3.3.1 をサポートするために必要です。

SP 4.5 から 5.0 へのアップグレードは、SPMAINT によるもののみがサポートされ、HPE サービス担当者が行う必要があります。

警告:

SP 4.5.0 を実行する SP は、HPE 3PAR OS 3.3.1 をサポートしていません。HPE 3PAR OS 3.3.1 へのアップグレードに続いて SP を SP 5.0.0 へアップグレードする必要があります。

後継情報

置き換えられるバージョン SP 4.4

サポートされるプラットフォームとブラウザ

物理 SP（PSP）

- HPE ProLiant DL320e（Gen8）
- HPE ProLiant DL360e（Gen8）
- HPE ProLiant DL120（Gen9）

仮想 SP（VSP）

- VMware ESXi 5.5/6.0/6.5
- Microsoft Hyper-V 2012/2012 R2/2016

ブラウザ

- Microsoft Internet Explorer
- Microsoft Windows Edge
- Mozilla Firefox
- Google Chrome

最新のバージョン情報にアクセスするには、次のサイトの Single Point of Connectivity Knowledge（SPOCK）で、Hewlett Packard Enterprise ストレージ製品に移動します。<https://h20272.www2.hpe.com/SPOCK/>

サポートされるデバイス

- HPE 3PAR StoreServ 7000 ストレージシリーズ (PSP と VSP)
- HPE 3PAR StoreServ 8000 ストレージシリーズ (PSP と VSP)
- HPE 3PAR StoreServ 10000 ストレージシリーズ (PSP)
- HPE 3PAR StoreServ 20000 ストレージシリーズ (PSP)

オペレーティングシステム

このリリースは、HPE 3PAR オペレーティング システムバージョン 3.3.1 でサポートされます。

言語

このリリースでサポートされる言語：

- 英語
- 日本語
- 中国語 (簡体)

機能

以下の機能は、SP 5.0 リリース用の HPE 3PAR Service Console 機能の一部です。

- サービスプロセッサを初期化、復元、アップデート、および構成する画面、ストレージシステムを追加する画面、サポートデータを収集する画面、およびその他の画面。
- 接続 (アタッチ) されているストレージシステム、およびコントローラーノード、ポート、ドライブエンクロージャー、物理ドライブなどのハードウェアコンポーネントを監視およびアップデートするための画面。

HPE SP OS での変更

今回のリリースでは、次の問題に対処しています。

問題 ID : 192845

問題の概要 : SP が、要求されていないメールを毎日午前 1:05 に送信する。

影響のあるプラットフォーム : StoreServ 7000、StoreServ 8000、StoreServ 10000、StoreServ 20000

影響を受けるソフトウェアバージョン : 4.4.0 MU2、4.4.0 MU3

問題の説明 : ローカル通知が有効な場合、SP が毎日午前 1:05 に件名 "Cron <rdanet@SP*****> /usr/bin/rda-cas-getcert --force-log" で電子メール通知を送信します。

症状 : 件名 "Cron <rdanet@SP*****> /usr/bin/rda-cas-getcert --force-log" の電子メール通知を毎日受信する。

問題発生条件 : なし

影響 : 大

表は続く

お客様による回避策：なし

お客様によるリカバリ手順：なし

問題 ID : 195715

問題の概要： StoreServ の初期化中に、暗号化されていないポートが無効になった場合、StoreServ のログやイベントが HPE に転送されない。

影響のあるプラットフォーム： StoreServ 7000、StoreServ 8000、StoreServ 10000、StoreServ 20000

影響を受けるソフトウェアバージョン： 4.3.0 GA から 4.3.0 MU3、4.4.0.GA から 4.4.0 MU3

問題の説明： OOTB を介した StoreServ の初期化中に、ユーザーが暗号化されていないポートを無効にすることを選択した場合、SP の接続は非常に制限され、StoreServ からイベントやログを収集することはできません。

症状： HPE には、StoreServ に関連するイベントまたはログが転送されません。

問題発生条件： OOTB 中に、暗号化されていないポートが無効化される。

影響： 大

お客様による回避策： StoreServ 初期化が OOTB 経由で実行される場合は、暗号化されていないポートを無効にするかどうかを尋ねるプロンプトが表示されたら、オプション「no」を選択します。

お客様によるリカバリ手順： 暗号化されていないポートを後で有効にするには、CLI コマンド 'setnet disableports no' を実行してください。

問題 ID : 199092

問題の概要： ケースの自動作成を促すアラートの転送に失敗する。

影響のあるプラットフォーム： StoreServ 7000、StoreServ 8000、StoreServ 10000、StoreServ 20000

影響を受けるソフトウェアバージョン： 4.1.0 から 4.3.0、4.4.0 GA から 4.4.0 MU3

問題の説明： ノード障害アラートは、HPE に転送されるときに、サポートケースを生成します。SP が HPE へのアラートの転送に失敗し、結果的にケースが作成されません。

症状： HPE には、StoreServ に関連するイベントまたはログが転送されません。

表は続く

問題発生条件：spcollect プロセスが突然終了するか、CLI タイムアウトエラーが発生する。

影響：大

お客様による回避策：なし

お客様によるリカバリ手順：なし

問題と回避策

問題 ID	説明	対処法
154020	アクティビティページのアクションメニューで、高度なアップグレード動作の一時停止から再開をしようとすると、エラーが発生する。	システムページでアクティビティパネルの再開オプションをクリックしてアップデートを再開します。
169634	StoreServ 初期化プロセス中に、ネットワーク接続が失われた場合、セットアップがハングし、完了しないように見える。	ネットワークに再接続し、SP にログインしてセットアップを完了します。
171088	アップグレード中に admithw が失敗した場合、アップグレードを再試行しても"admithw failed"の状態から回復しない。	システムページで ハードウェアの承認 アクションを選択し、手動で admithw を実行します。
179246	Firefox 48.0 を使用して、SP を正常にアップグレードし再起動した後、HPE 3PAR Service Console のログイン画面ではなく、HPE 3PAR StoreServ Management Console のログイン画面が表示される。	Firefox からのキャッシュ/クッキーをクリアし、ブラウザを再起動します。
182454	接続された StoreServ を 3.3.1 から 3.2.2 や 3.2.1 に戻したり、OS バージョンを 3.3.1 から 3.2.2 にダウングレードした後で、CLI コマンド、ハードウェアの承認、ヘルスのチェック、サポートデータの収集のような SP 5.0 アクションを実行すると、予期できない結果になることがある。	SP を、サポートされている 4.x バージョンに復元してからアクションを実行します。
183554	Hyper-V の VSP で、接続が失われる。	SP 4.x ではデフォルトでレガシアダプターを使用するので、4.5 Hyper-V VSP からの移行の場合、VM を再構成してレガシでないアダプターを使用するようにします。 <ol style="list-style-type: none">1. SP をシャットダウンします。2. Hyper-V の設定...メニューで、各レガシアダプターを選択し、各アダプターを削除します。3. ハードウェアの追加を選択し、ネットワークアダプターを追加します。4. 必要な仮想スイッチを選択します。5. 適用/OKを押します。6. SP を再起動します。

表は続く

問題 ID	説明	対処法
187126	バージョン 54 以降の Chrome ブラウザーを使用する場合、SSMC および SC の各種画面やダイアログボックスで、"Aw, Snap!" のメッセージを出力してブラウザーがクラッシュすることがある。	別のサポートされているブラウザー、または、Chrome の古いバージョンを使用します。
188892	コンソールでネットワーク設定を完了した後に SP セットアップを起動しようとする、サービスプロセッサの接続ボタンをクリックした後、SP セットアップページが消える。	ブラウザーを閉じ、それをもう一度開きます。
189793	Firefox 48.0 を使用して、SP を正常にアップグレードし再起動した後、HPE 3PAR Service Console のログイン画面ではなく、HPE 3PAR StoreServ Management Console のログイン画面/接続タイムアウトのポップアップ画面が表示される。	Firefox からのキャッシュ/クッキーをクリアし、ブラウザーを再起動します。
195025	生成された CSR が、SAN が指定されていない場合、"Data is Invalid" エラーにより、CA によって拒否される。	この問題は問題 ID 195595 で追跡されています。
196823	sp2node プロセスが壊れている HPE 3PAR OS の star パッケージを検出すると、"Unable to extract OS-<version>.tar." というエラーメッセージを出力して終了する。	sp2node を再実行し、"modify rescue parameters" コマンドを使用して OS パッケージを手動で再構成します。
197194	転送を高速化するためダンプの優先度を上げる必要がある。	この問題は問題 ID 199783 で追跡されています。
197459	パッチのアップグレードの後に別のパッチを適用しようとする、StoreServ との通信を確立できないことを示すポップアップが表示される。	次のいずれかの状況でメッセージが表示される可能性があります。 <ul style="list-style-type: none"> パッチを適用した後、StoreServ 上の新しいバージョンのソフトウェアに対応するため、SP ソケットの通信層でソケットプールを再構築する必要があります。所要時間は最大 2 分です。 パッチにより netc、sysmgr、およびその他多数のサービスが再起動されます。これは、StoreServ で記録されますが、安定するまで数分かかります。この間、SP はストレージシステムへの接続が失われる可能性があります。
200145	E メールアドレスの現在の検証規則は、制限が厳しすぎる。E メールアドレスのピリオド (.) の後に許されるのは最大 4 文字です。	なし。MU1 で修正を予定しています。

SP 5.0 へのアップグレードの前提条件

SP 5.0 にアップグレードする前に、SP 4.5 にアップグレードする必要があります。アップグレードの情報と手順については、*HPE 3PAR サービスプロセッサ 4.5 ソフトウェアリリースノート* および *HPE 3PAR サービスプロセッサソフトウェア 4.3/4.4~5.0 アップグレード手順* を参照してください。

✓	以下の条件を満たすこと
	バージョン 4.5 を実行する SP
	SP は、セキュアネットワークモードで実行している必要があります。
	ストレージシステムが接続されている場合、少なくとも HPE 3PAR OS 3.3.1.GA を実行している必要があります。
	物理 SP は、ProLiant サーバー上で実行している必要があります。
	ESXi バージョン 5.5/6.0/6.5、または Hyper-V 2012/2012 R2/2016（仮想サービスプロセッサ用）
	仮想 SP は、少なくとも 4096MB のメモリが必要です。
	<p>❗ 重要:</p> <p>Hyper-V については、SP 4.5 へのアップグレードが完了するまで仮想メモリを再構成しないでください。</p>
	<p>仮想 SP は、4CPU コアが必要です。</p> <p>❗ 重要:</p> <p>Hyper-V については、SP 4.5 へのアップグレードが完了するまで CPU コアを再構成しないでください。</p>



警告:

アップグレードチェックでは、Hyper-V VSP 用の、Windows Server バージョンを確認できません。Windows Server 2008 R2 では、アップグレードを継続しないでください。SP 5.0 は、Windows Server 2012、Windows Server 2012 R2、および Windows Server 2016 でのみサポートされます。

SP 5.0 へのアップグレード

このタスクについて



警告:

SP のアップグレードをする前に、まず、HPE 3PAR OS はバージョン 3.3.1 を実行していることを、確認する必要があります。

SPMAINT を使用し、コマンドラインオプション = 1.16.6==> を使用して SP をバージョン 5.0 にアップグレードします。

Service Console のインストール手順

このタスクについて

Service Processor for SP 5.0 をセットアップし、接続された HPE 3PAR StoreServ ストレージシステムを管理するには、*HPE 3PAR Service Console* および *StoreServ Management Console 3.1 クイックセットアップガイド* の手順を参照してください。

❗ **重要:**

PSP や VSP をセットアップする場合、SSMC 3.1 を SP ではなく別のシステム上にインストールする必要があります。

関連情報

HPE 3PAR サービスプロセッサ 5.0 の最新ドキュメントは、Web サイト [Hewlett Packard Enterprise サポートセンター](#) から入手できます。

次のドキュメントが提供されています。

- *HPE 3PAR サービスプロセッサソフトウェア 4.5 リリースノート*
- *HPE 3PAR Service Console および StoreServ Management Console 3.1 クイックセットアップガイド*
- *HPE 3PAR サービスプロセッサソフトウェア 5.0 ユーザーガイド*
- *HPE 3PAR Service Processor Software 5.0 Rebuild Instructions*

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。